

2023 年度 新入生アンケート 調査報告

2023 年 6 月

京都精華大学 学長室グループ

2023年度 新入生アンケート 調査概要

1. 調査目的

新入生の入学段階での指向や学修状況を把握して、今後の本学の教育や学生支援の質向上を図るためのデータとして活用する。

2. 調査対象

2023年度4月入学の学部生 959名

3. 調査期間

2023年4月1日（土）10：00～4月22日（土）23：59

4. 調査方法

教学システム（セイカ・ポータル）のWEBアンケートフォームより実施

5. 回答者の構成比率

学部	学生数	回答者数	回答率	構成比率	回答者 構成比率
国際文化	104	102	98.1%	10.8%	11.0%
メディア表現	182	176	96.7%	19.0%	18.9%
芸術	115	109	94.8%	12.0%	11.7%
デザイン	246	241	98.0%	25.7%	25.9%
マンガ	312	301	96.5%	32.5%	32.4%
全体	959	929	96.9%	100.0%	100.0%

	2023	2022	2021	2020	2019
対象者数	959	1,032	1,059	1,020	897
回答者数	929	982	1,023	991	384
回答率	96.9%	95.2%	96.6%	97.2%	42.8%

2023年度 新入生アンケート 集計結果

【質問1】 本学を知ったきっかけを教えてください。

「高校・塾・日本語学校の先生から聞いて」が昨年度に続いて最も多く、次いで「京都精華大学のホームページ」、「大学紹介サイト」の順。

その他の回答は、

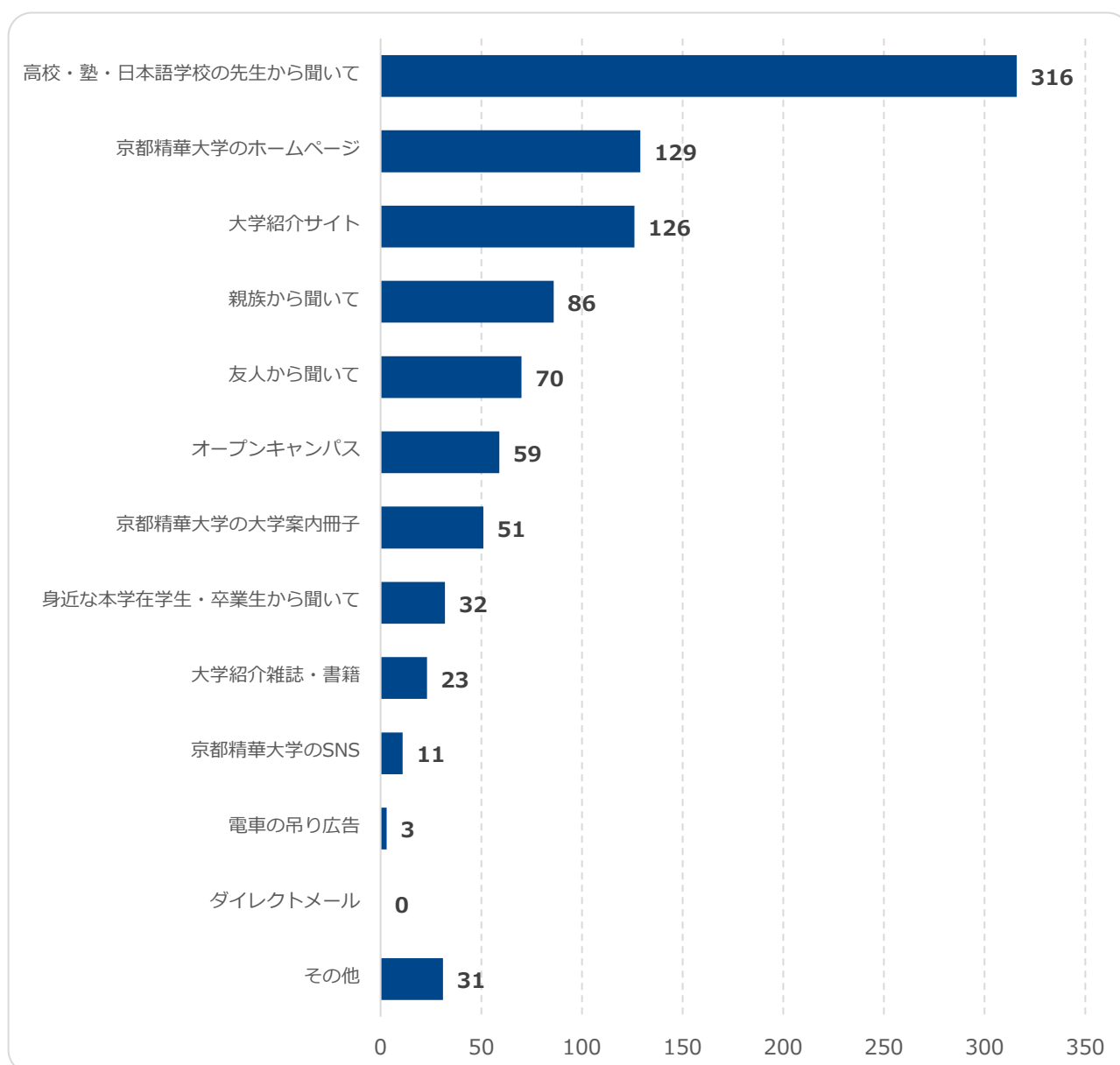
「大学・学部・学科の検索で」（5名）、「合同説明会」（4名）、「近所」（3名）、

「卒業生のSNS」「SEIKA AWARD」（各2名）、

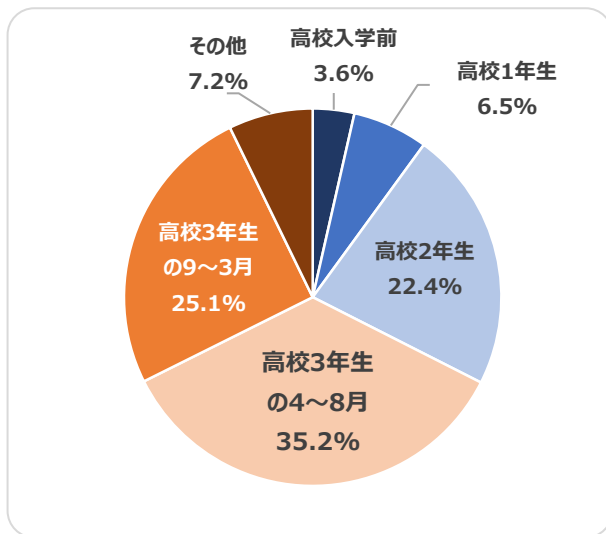
「教員の著作」「教員のテレビ出演」「在学生のSNS」「YouTubeの広告」「映画」

「大学主催イラストコンテストのチラシ」「デッサン講習会」（各1名）

などがあった。

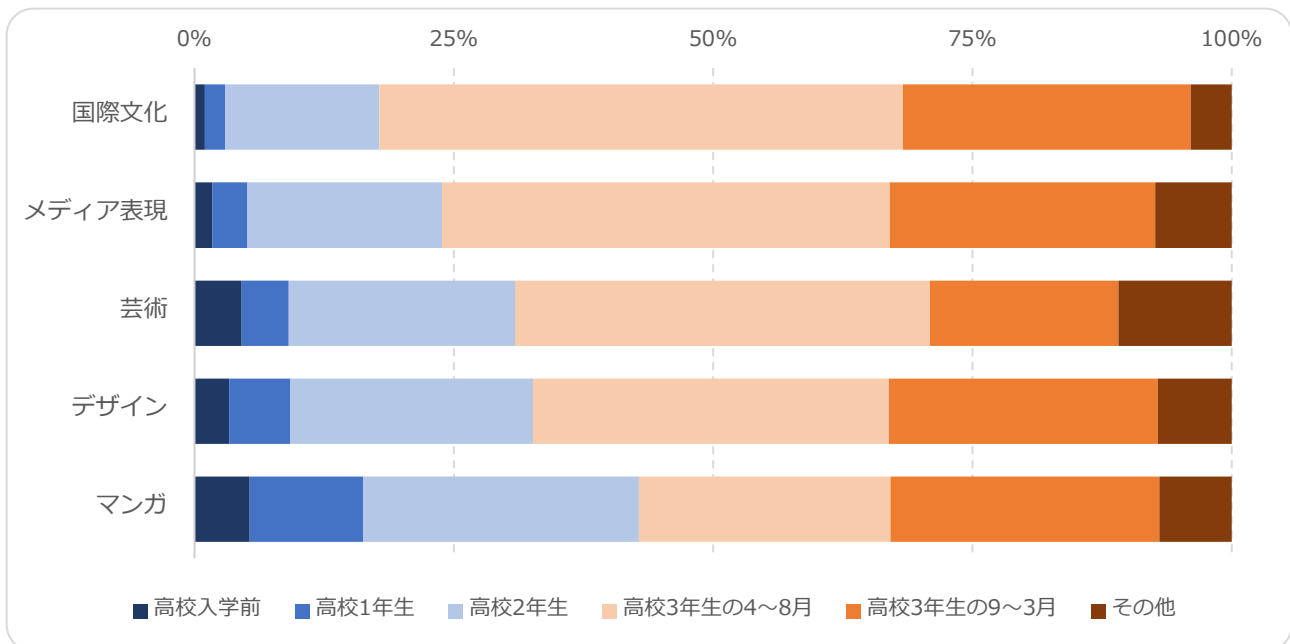


【質問2】 本学を志望したのはいつ頃でしたか。



「高校3年生の前半」が、最多であった。次いで、「高校3年生の後半」「高校2年生」の順。その他の回答は、「高校卒業後」「大学在学中」「大学卒業後」「日本語学校在学中」「浪人の時期」などがあった。

学部別回答

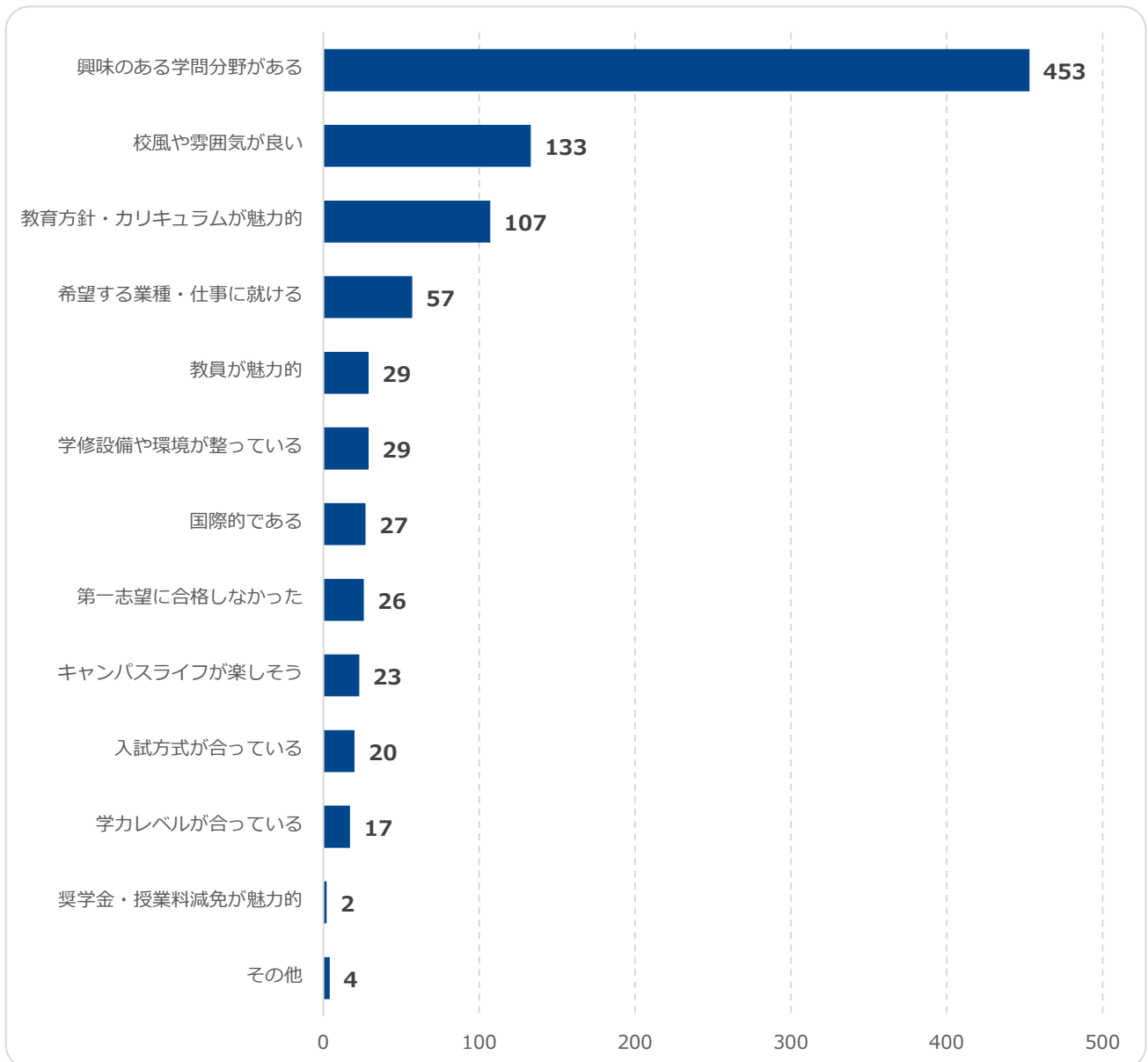


【質問3】 本学に入学した一番の理由を教えてください。

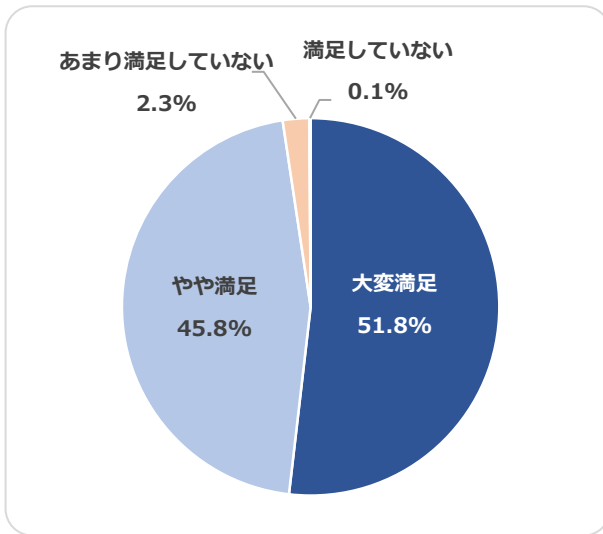
「興味のある学問分野がある」が最も多く、次いで「校風や雰囲気が良い」、「教育方針・カリキュラムが魅力的」の順で、昨年度と同様であった。

その他の回答は、

「運命感じた」「直感」「専門業界の資源と知識」
などがあった。

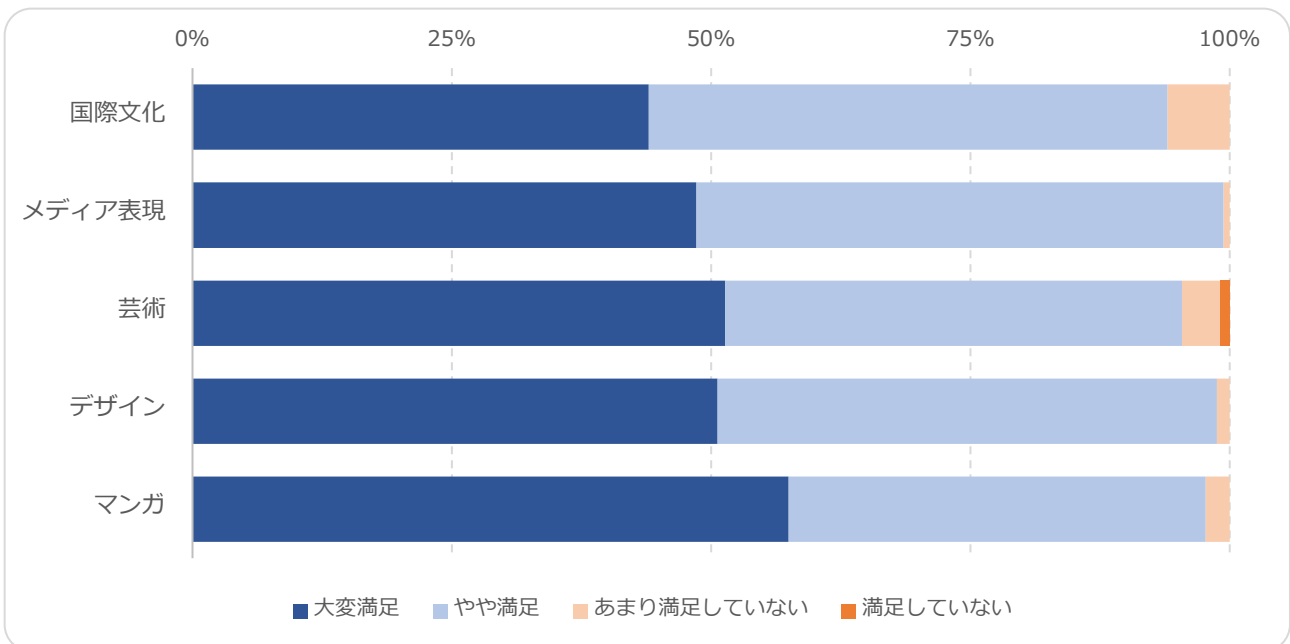


【質問4】 本学に入学し、現在満足していますか。



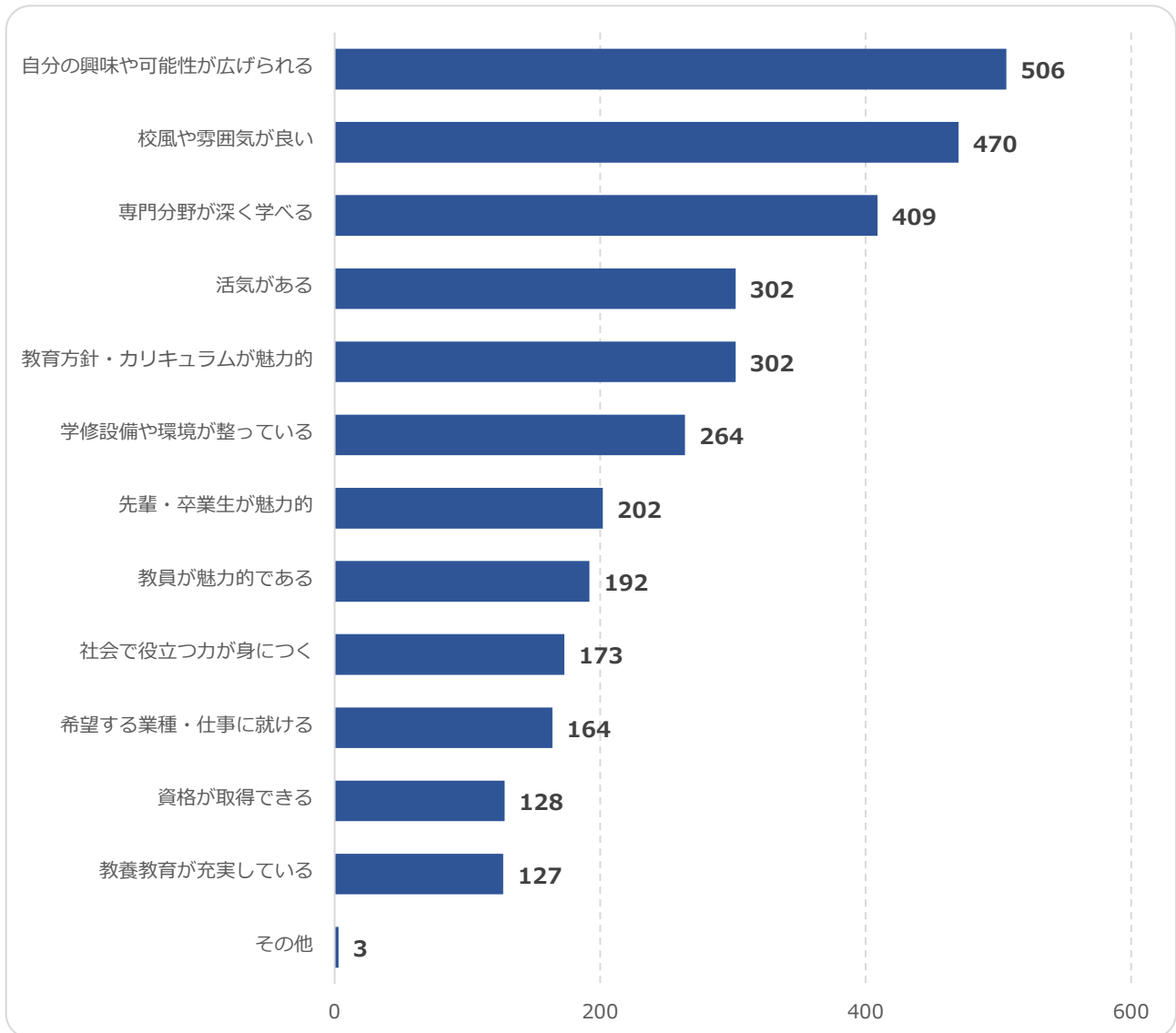
97.6%が「満足」と回答。学部別に見るとすべての学部の満足度が、90%を上回っている。

学部別回答

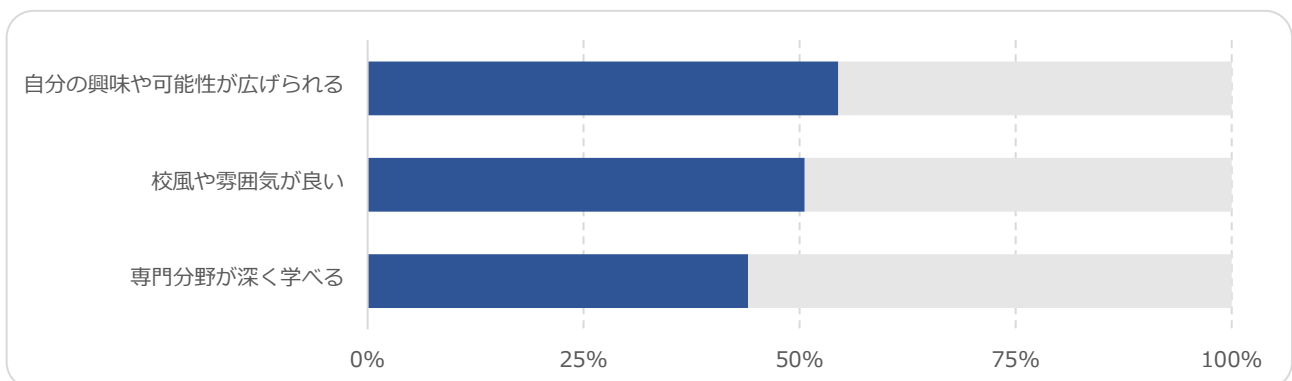


【質問5】 本学にどのようなイメージを持っていますか。（13個まで選択可能）

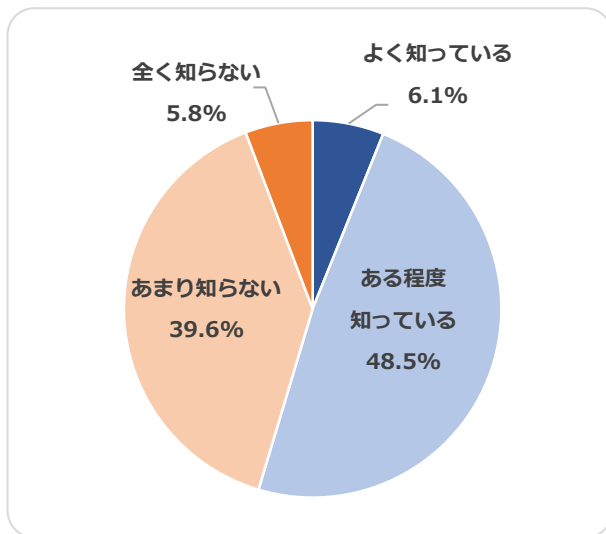
「自分の興味や可能性が上げられる」が最多で、次いで「校風や雰囲気が良い」「専門分野が深く学べる」の順。その他の回答は、「学生の個性を尊敬しています」「留学生が多い」などがあつた。



上位回答の回答者割合

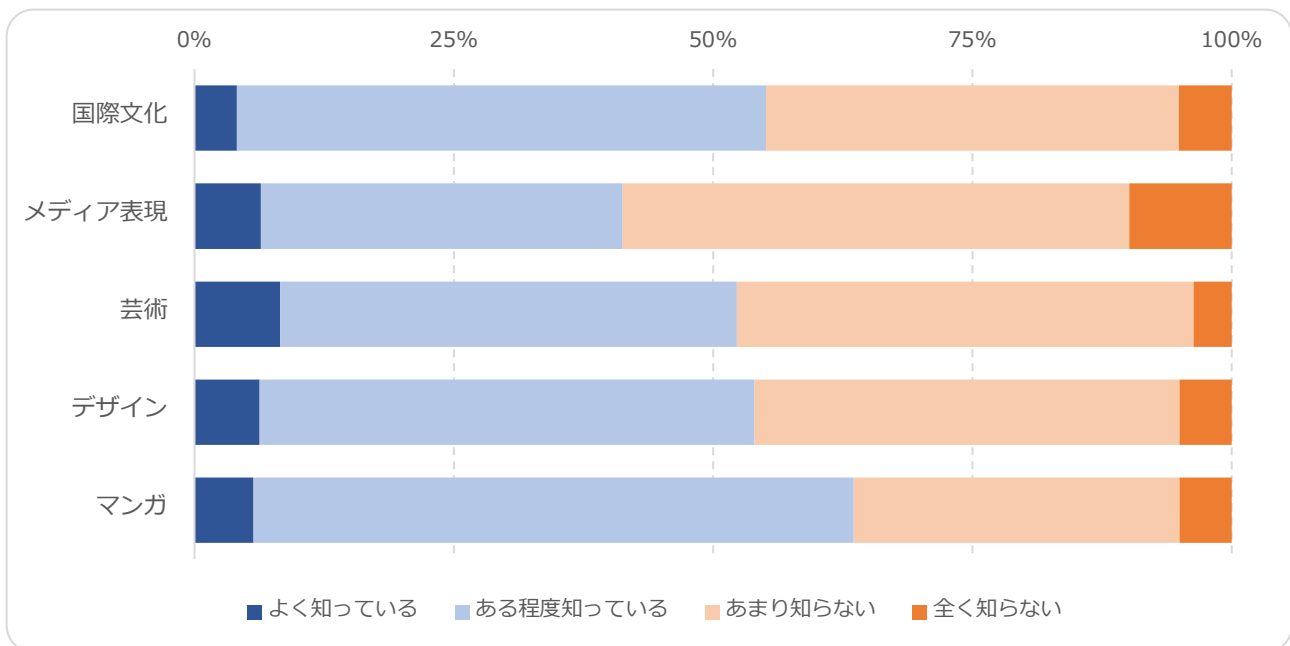


【質問6】 本学の建学の理念や歴史についてどのくらい知っていますか。



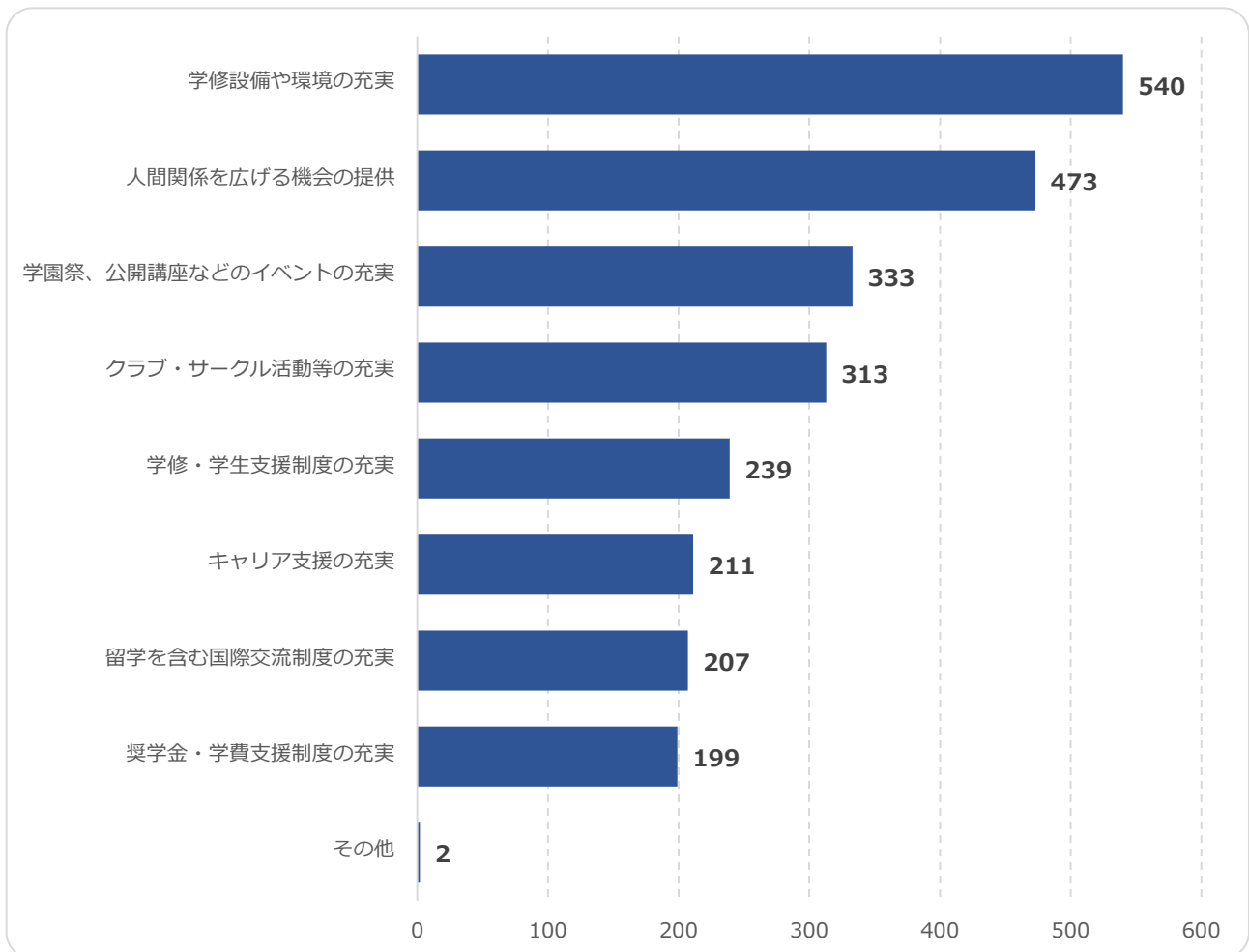
「知っている」と回答した学生は、54.6%であった。

学部別回答



【質問7】授業以外で大学に期待することは何ですか。（9個まで選択可能）

「学修設備や環境の充実」が最も多く、次いで「人間関係を広げる機会の提供」「学園祭、公開講座などのイベントの充実」の順。

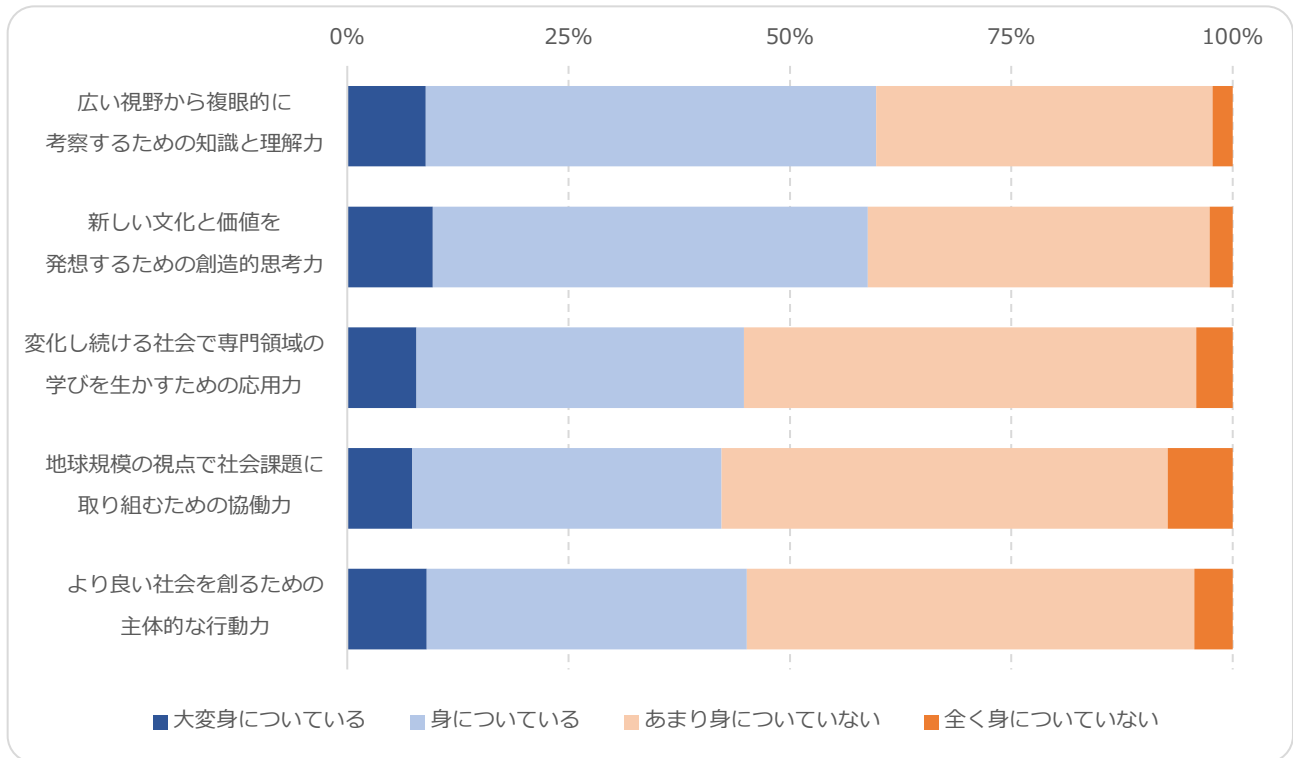


【質問8】自学部・自コースへ期待することは何ですか。（自由記述）

※回答は学内会議にて共有

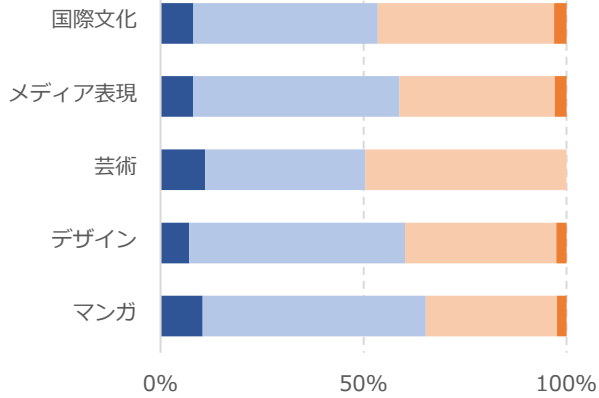
【質問9】今の自分の能力について教えてください。

身につけているとの回答は、「広い視野から複眼的に考察するための知識と理解力」が一番多く、次いで「新しい文化と価値を発想するための創造的思考力」であった。

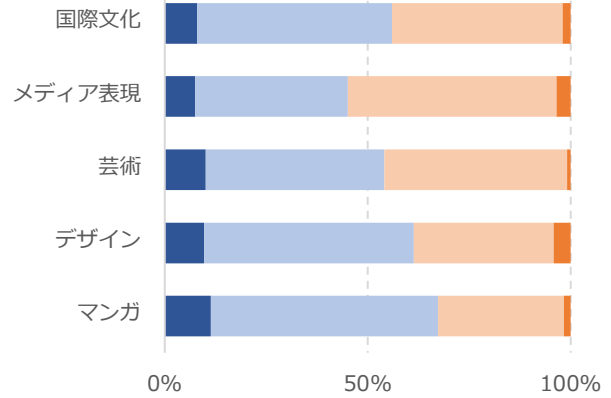


各項目の学部別回答

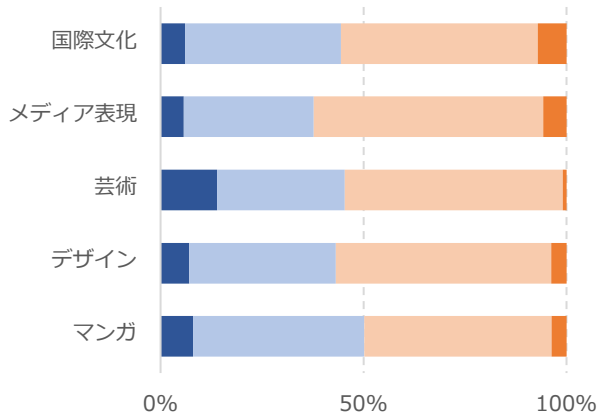
広い視野から複眼的に考察するための
知識と理解力



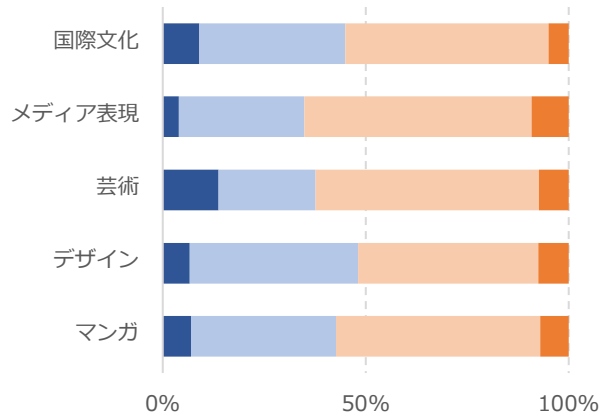
新しい文化と価値を発想するための
創造的思考力



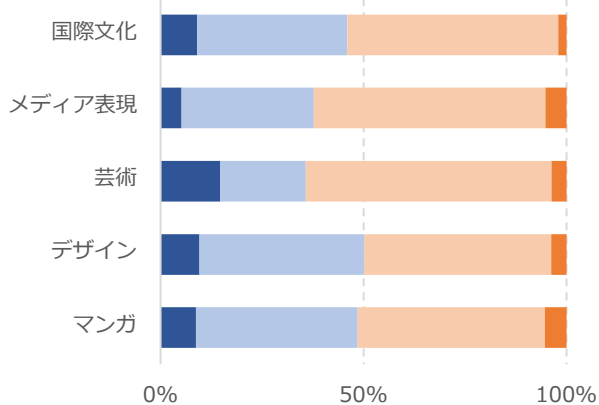
変化し続ける社会で専門領域の
学びを生かすための応用力



地球規模の視点で社会課題に
取り組むための協働力

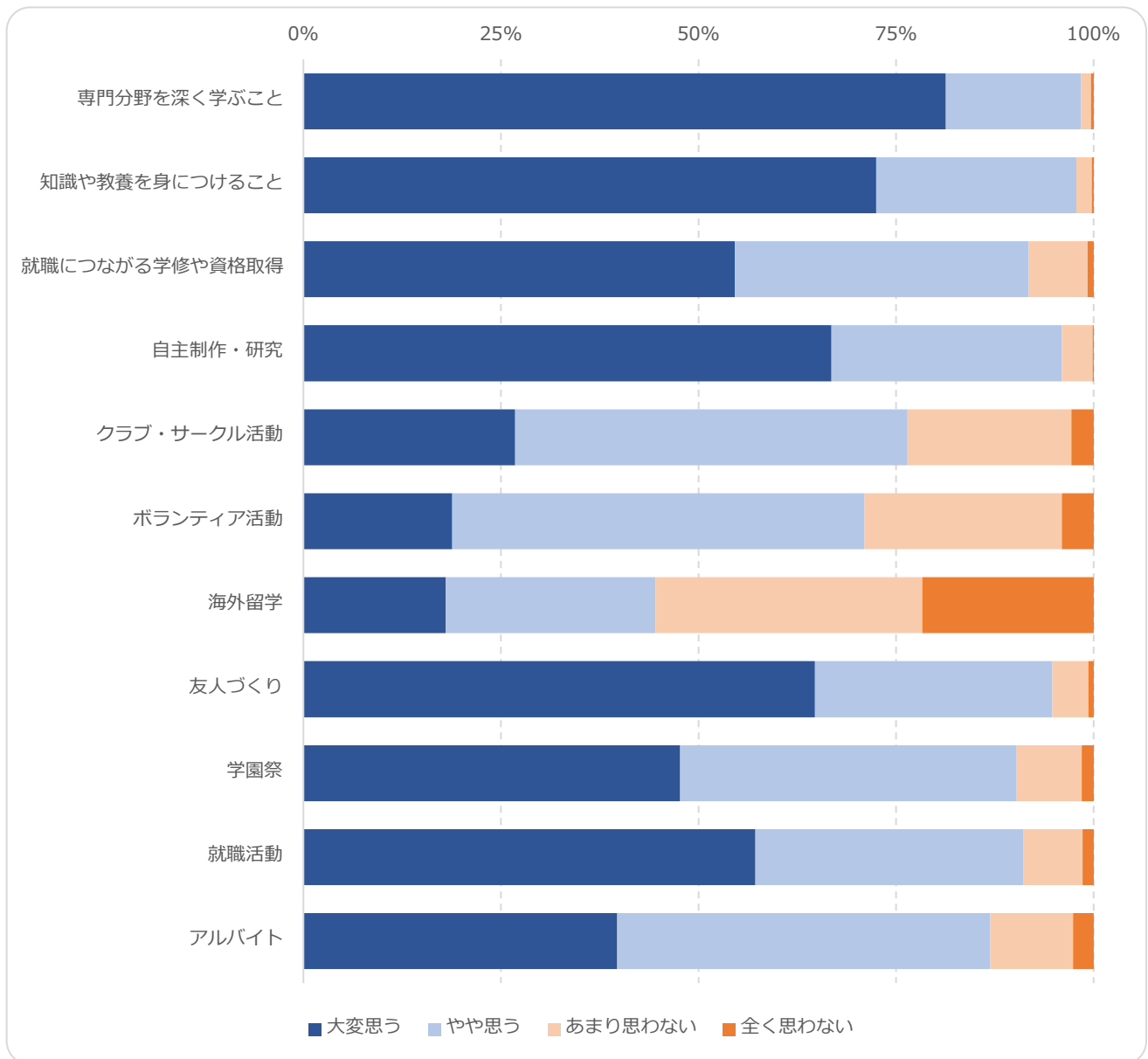


より良い社会を創るための
主体的な行動力

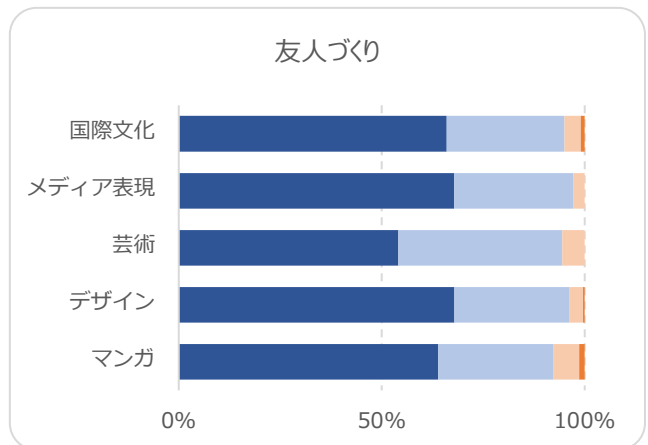
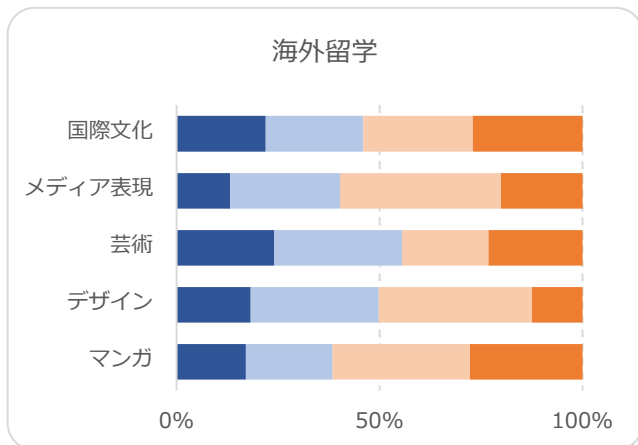
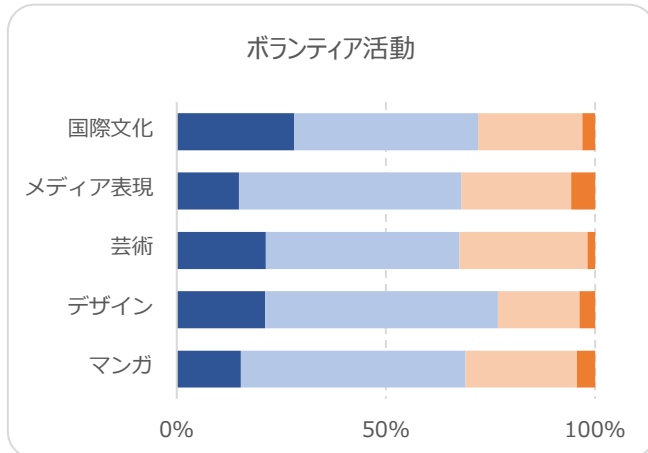
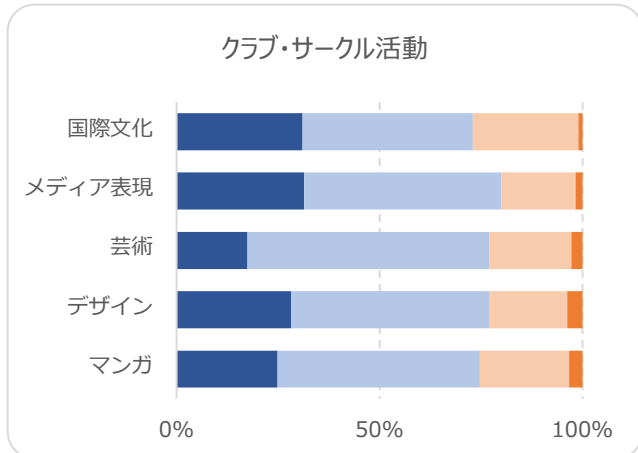
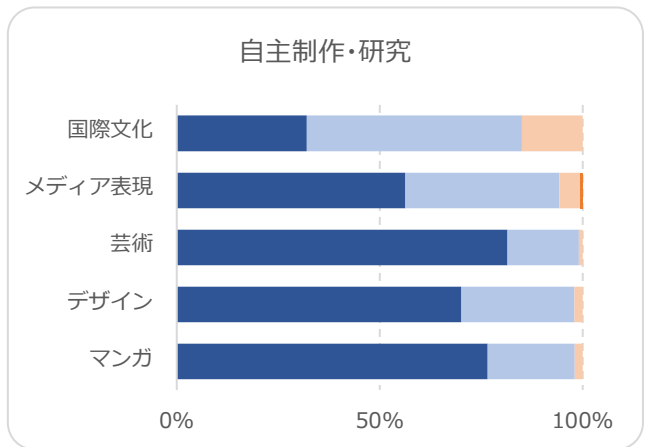
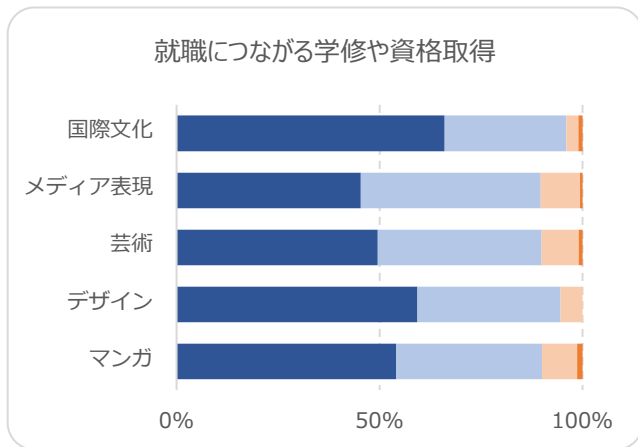
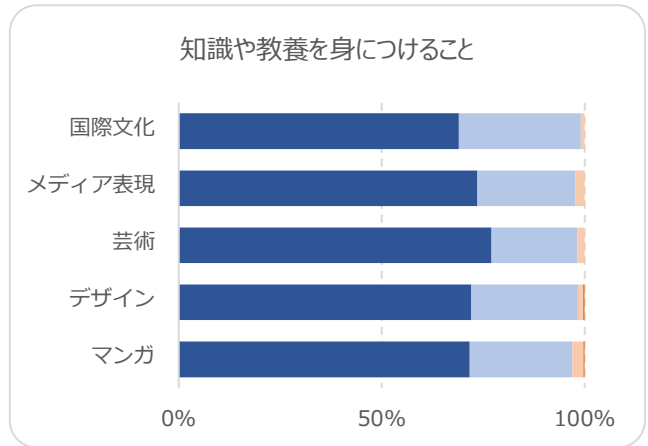
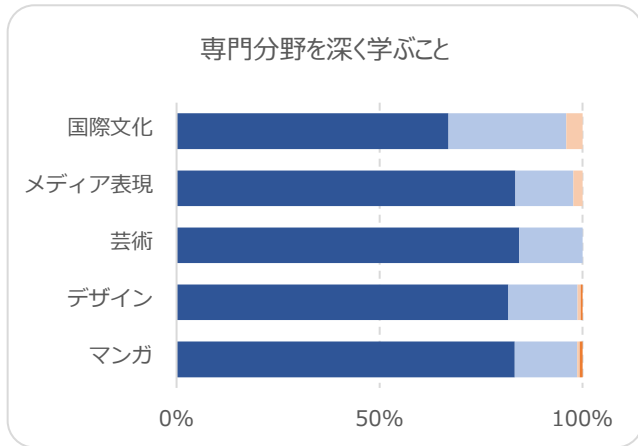


【質問 10】 次の項目について、力を入れたいことについて教えてください。

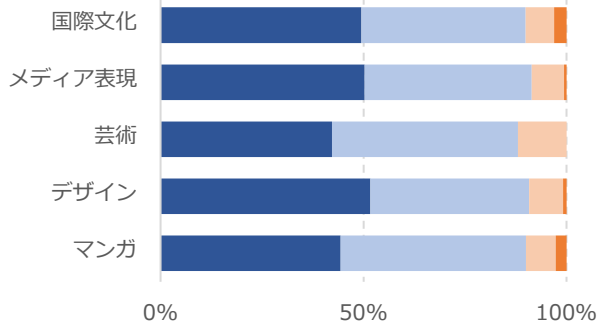
「専門分野を深く学ぶこと」「知識や教養を身につけること」「自主制作・研究」は95%以上とほぼ全員が力を入れたいと考えている。「クラブ・サークル活動」「ボランティア活動」「海外留学」については他の項目と比べると低い。



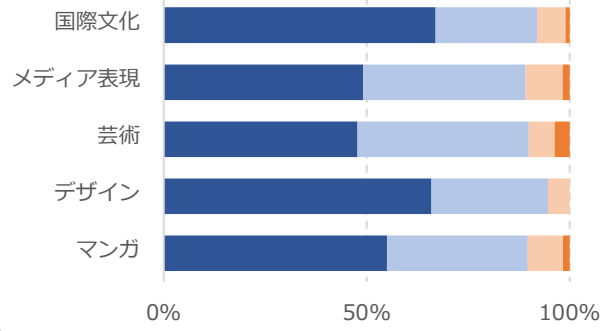
各項目の学部別回答



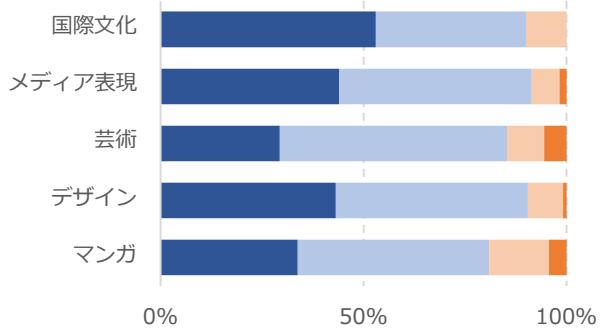
学園祭



就職活動



アルバイト



【質問 11】 入学にあたり不安に思っていることを教えてください。

(8個まで選択可能)

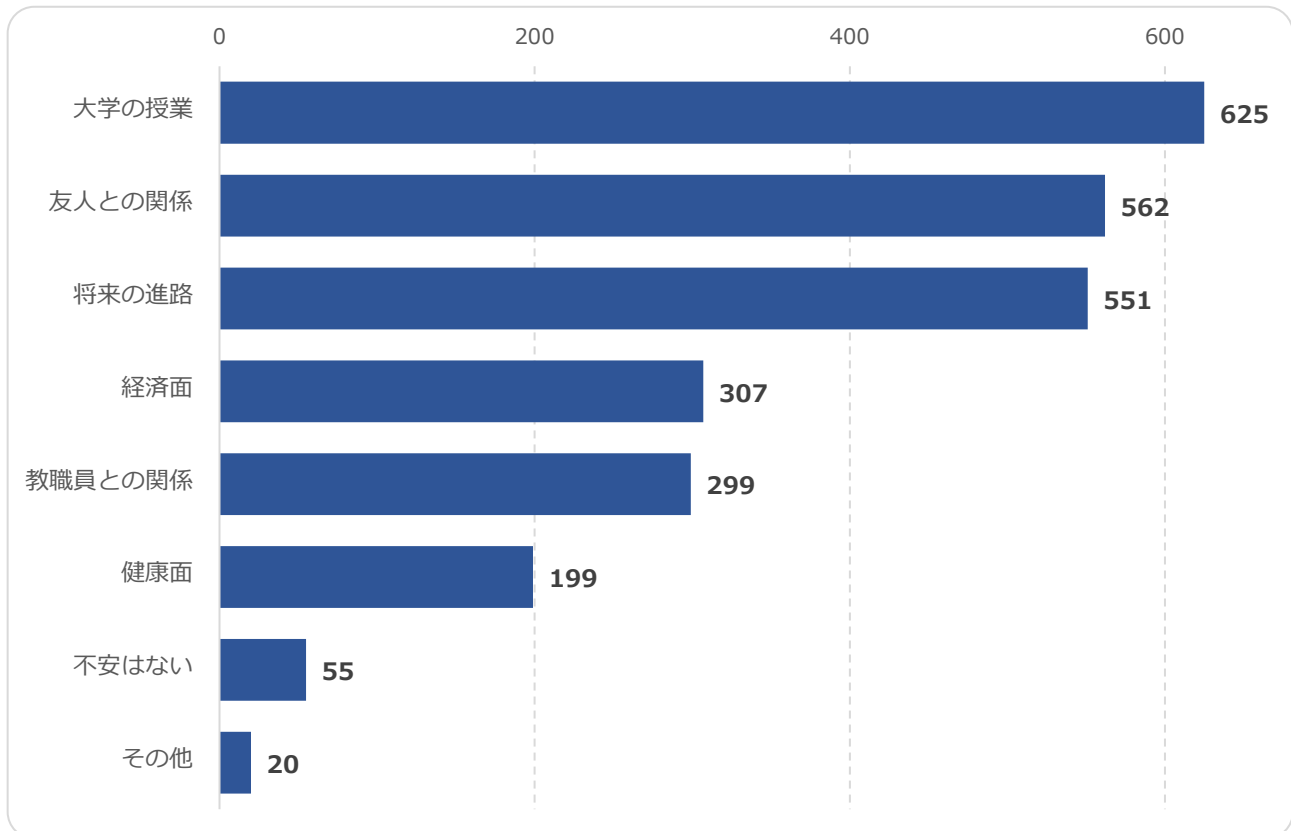
「大学の授業」が最も多く、次いで「友人との関係」「将来の進路」の順。

その他の回答は、

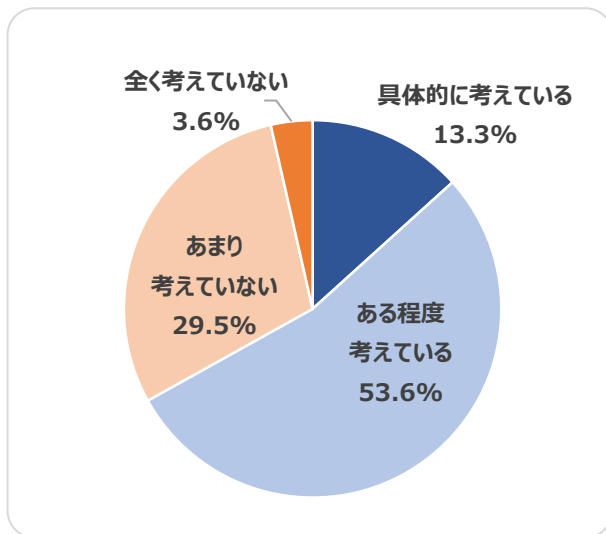
「日本語能力」「留学生活」「通学時間が長い」「通信制から通学し授業を受けることへの変化」

「一人暮らし」「アルバイトとの両立」

などがあった。



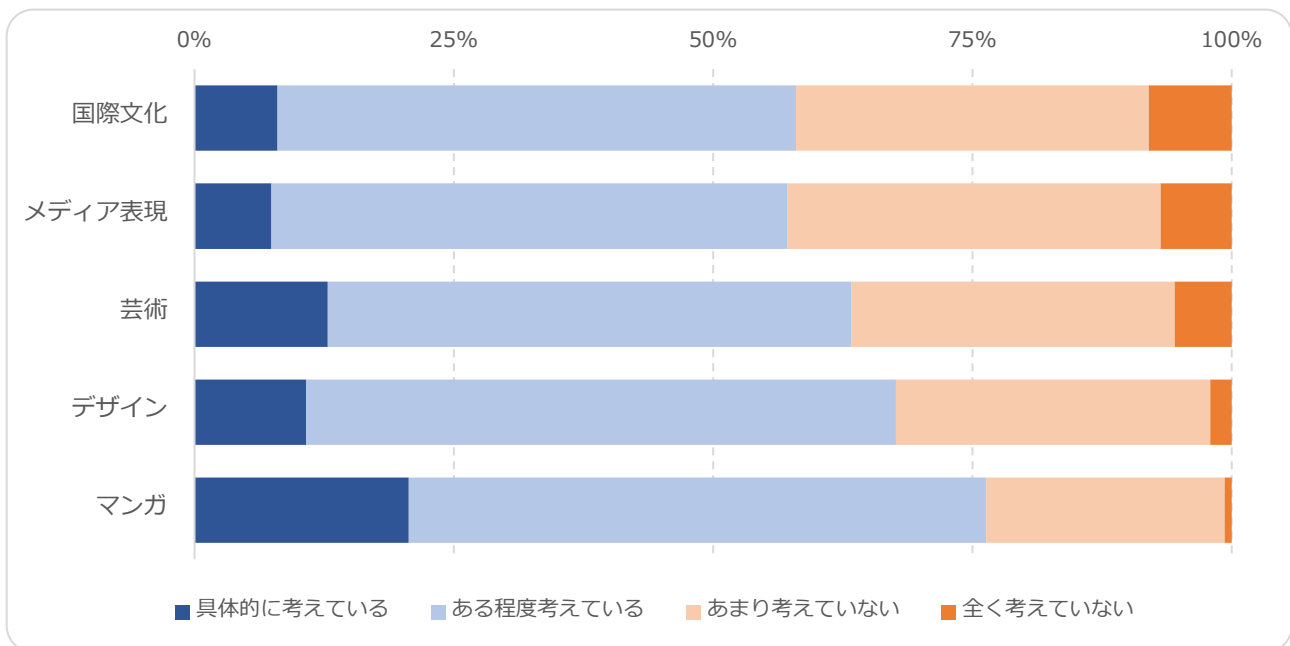
【質問 12】卒業後の進路について、現在どのくらい考えていますか。



「具体的に考えている」「ある程度考えている」と回答した割合は 66.9%であった。

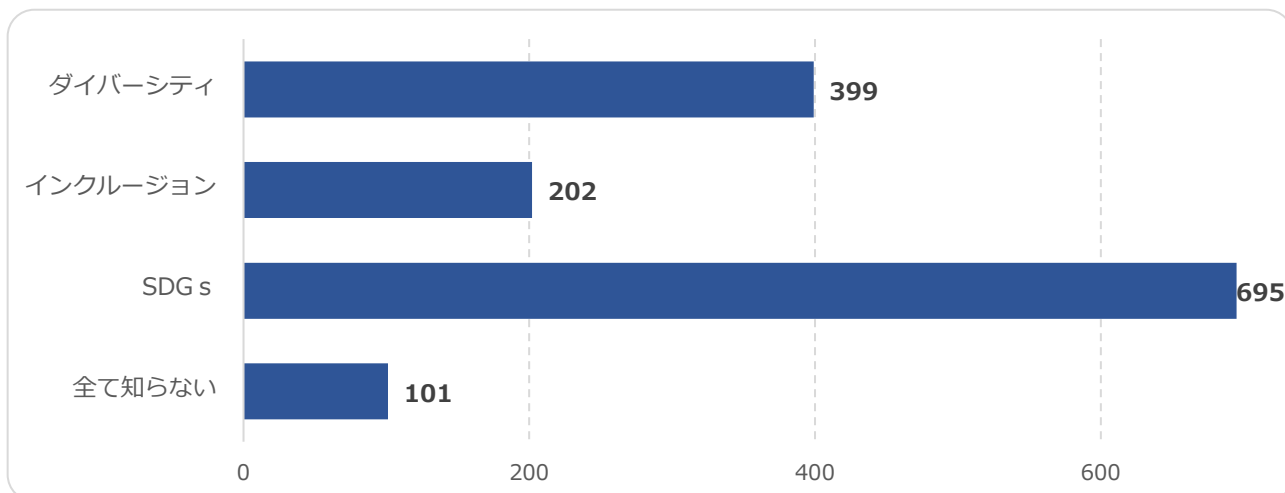
学部別に見ると、「考えている」と答えた割合が高いのがマンガ学部で 76.3%。低かったのがメディア表現学部で 57.1%であった。

学部別回答



**【質問 13】 以下の言葉のうち、知っているもの全てにチェックを入れてください。
(3 個まで選択可能)**

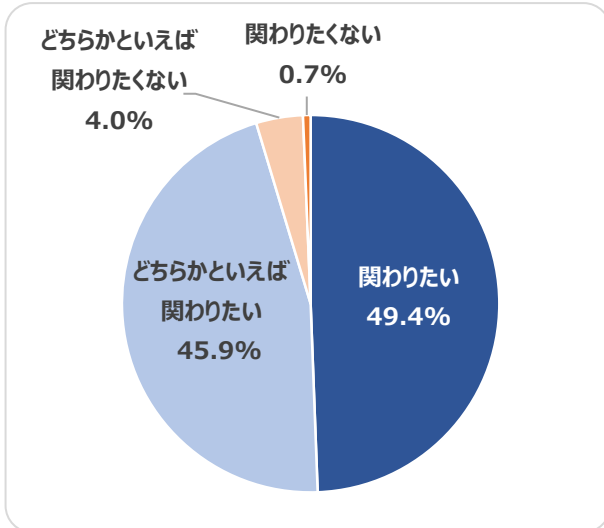
「全て知らない」を選択した人は、昨年度 15.9%に対して、今年度は 10.9%であった。
また、「インクルージョン」の言葉を知っている人は、昨年度 15.9%に対して、今年度は 21.7%であった。



※「ダイバーシティ」…多様なバックグラウンドや属性を持つ人が集まること
「インクルージョン」…多様な人々が対等に関わり合うこと
「SDG s」…世界共通の 2030 年までの継続可能な開発目標

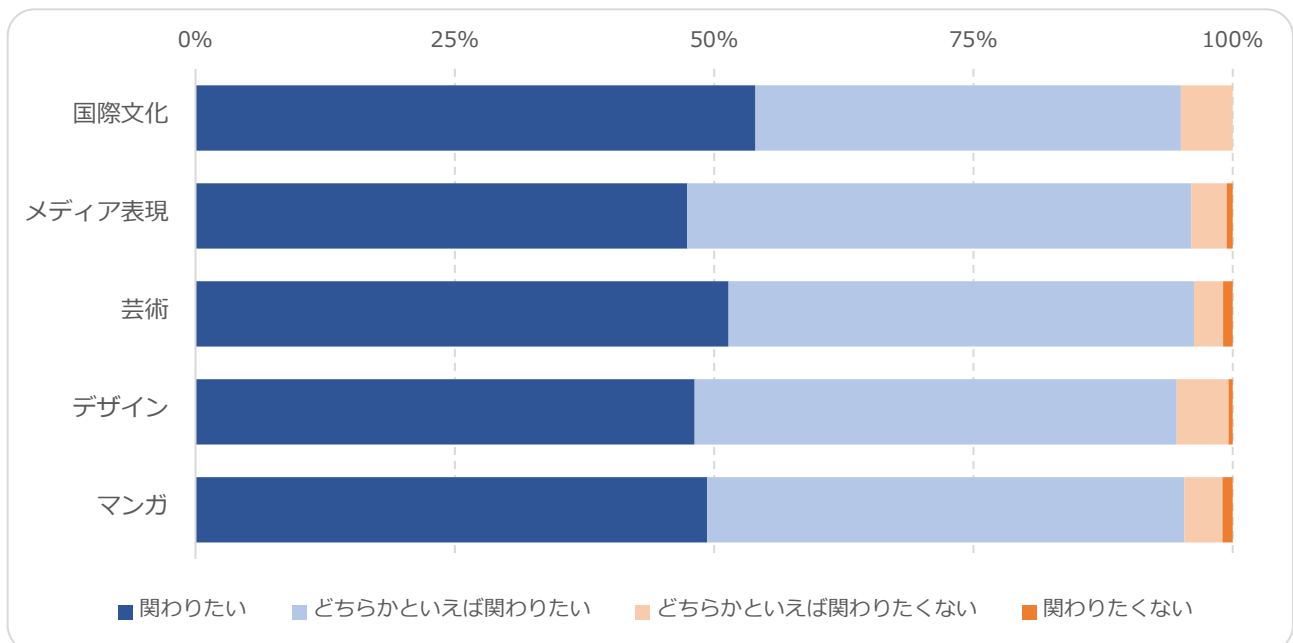
	回答者	構成比
ダイバーシティ	399	42.9%
インクルージョン	202	21.7%
SDG s	695	74.8%
全て知らない	101	10.9%

【質問 14】 自分と異なる文化や価値観、属性（国籍、ジェンダー、宗教など）を持つ人と関わることについて、あなたの感覚と最も近いものを1つ選んでください。

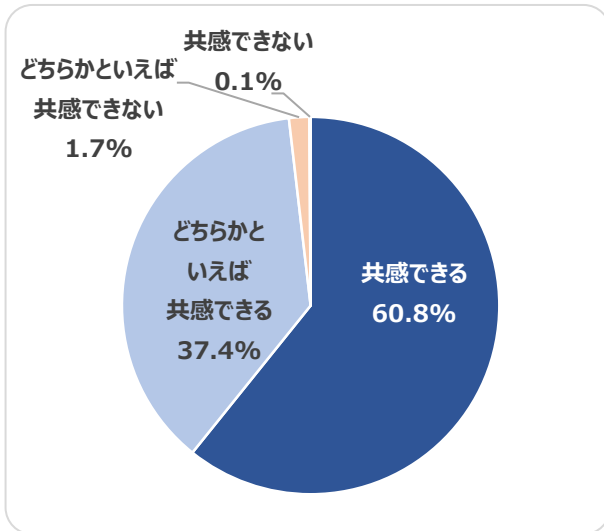


95.3%が、自分と異なる文化や価値観、属性を持つ人と「関わりたい」と回答。

学部別回答



【質問 15】 京都精華大学が、ダイバーシティ推進の取組を進め、多様な人々が対等に関わり合い、お互いに成長できる場を目指すことについて、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。



98.2%が「共感できる」と回答。

国際文化学部で、「共感できる」の回答の割合が最も高い。

学部別回答

